



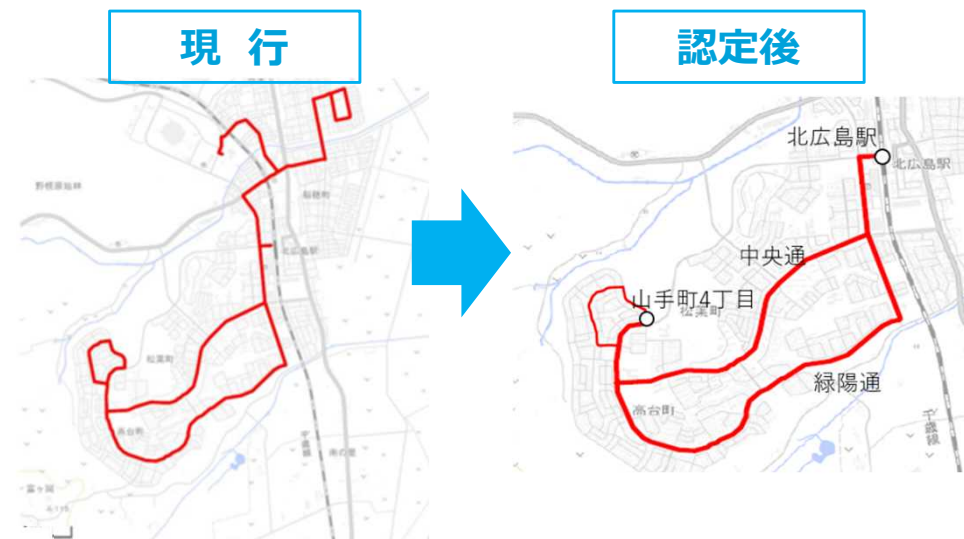
- 主に北広島団地地区を走る「さんぼまち・東部線」は、地域住民の生活交通として利用されるとともに、JR北広島駅へと接続することから、政令指定都市である札幌市や、新千歳空港への2次交通としての利用もあり、地域住民の暮らしにおいて、重要な役割を担っている。（年間利用者数およそ40万人）
- 一方、当該路線は人口減少や2024問題の影響等から、乗務員不足が深刻化し、運行事業者より令和8年4月以降のサービス維持が困難である旨の申し出があった。
- 当該路線は地域住民の足として重要な役割を担っており、今後も交通ネットワークとして維持・確保を図る必要があることから、北広島市地域公共交通活性化協議会での検討を経て、「地域旅客運送サービス継続実施計画」を策定し、利用促進や利用者ニーズへの対応にかかる取組を地域で連携して進めることとした。

事業の内容

- ・乗合路線定期運行による継続
- ・運賃：全区間240円
- ・地域内フィーダー系統（本計画認定により、国庫補助新規認定予定）
- ・車両：一般中型車およびタクシー車両（10人乗）
- ・運行回数：変更あり（下図のとおり）
- ・計画作成自治体：北広島市
- ・計画期間：令和8年4月1日～令和11年3月31日
- ・公募期間：令和7年11月5日～11月17日
- ▶継続事業者は 富士交通(株)に決定
- ・路線名称を「北広島さんぼまち線」とし、地域や運行事業者と連携した利用促進の取組や、地域住民の公共交通への意識醸成を図る取組を実施

運行回数

旧	さんぼまち・東部線 (さんぼまちエリアの便数のみ)	新	北広島さんぼまち線
平日		平日	
山手町→緑陽→北広島駅	7便	山手町→緑陽→北広島駅	4便
山手町→中央→北広島駅	8便	山手町→中央→北広島駅	3便
北広島駅→緑陽→山手町	1便	北広島駅→緑陽→山手町	0便
	9時～15時台		9時～15時台
北広島駅→緑陽→北広島駅	7便	北広島駅→緑陽→北広島駅	2便
北広島駅→中央→北広島駅	14便	北広島駅→中央→北広島駅	3便
	16時台～最終		16時台～最終
北広島駅→緑陽→山手町	14便	北広島駅→緑陽→山手町	6便
北広島駅→中央→山手町	14便	北広島駅→中央→山手町	3便
山手町→緑陽→北広島駅	1便	山手町→緑陽→北広島駅	0便
山手町→中央→北広島駅	1便	山手町→中央→北広島駅	0便
土日祝		土日祝	
山手町→緑陽→北広島駅	5便	山手町→緑陽→北広島駅	2便
山手町→中央→北広島駅	6便	山手町→中央→北広島駅	2便
北広島駅→緑陽→山手町	1便	北広島駅→緑陽→山手町	0便
	9時～15時台		9時～15時台
北広島駅→緑陽→北広島駅	7便	北広島駅→緑陽→北広島駅	5便
北広島駅→中央→北広島駅	7便	北広島駅→中央→北広島駅	1便
	16時台～最終		16時台～最終
北広島駅→緑陽→山手町	10便	北広島駅→緑陽→山手町	0便
北広島駅→中央→山手町	10便	北広島駅→中央→山手町	0便
山手町→緑陽→北広島駅	1便	山手町→緑陽→北広島駅	0便
山手町→中央→北広島駅	1便	山手町→中央→北広島駅	0便



北広島市地域公共交通活性化協議会での検討の結果、新たな「北広島さんぼまち線」の運行のみでは、現行の「さんぼまち・東部線」と比べて便数が減少となるため、既存の別路線である「広島線」の経路変更を合わせて実施する予定。



関連事業

さんぽまち・東部線の減便分は、広島線（右図青線および赤線）の経路変更により代替手段を確保



北広島さんぽまち線と広島線の変更後の路線図

【北海道中央バス】
広島線・星槎道都大学経由便(青線)

福住駅 発着
～星槎道都大学～山手町3丁目・山手町5丁目～
中央通～
～北広島駅 発着 / 東部中西 発着
/ Fビレッジ入口・総合体育館 発着 の3系統

【富士交通】
北広島さんぽまち線(水色線)

山手町4丁目 発着
～山手町3丁目・山手町5丁目～
～北広島駅 発着
中央通経由、緑陽通経由の2系統
(一部循環便)

【北海道中央バス】
広島線・輪厚ゴルフ場経由便
(赤線)

福住駅 発着 / 大曲 発着
～輪厚ゴルフ場～高台町4丁目～緑陽通
～北広島駅 発着 / 東部中西 発着
の3系統

